

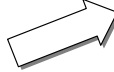
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-11-03
事務事業名	県道整備促進事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	昭和46年～	担当課(室)	都市整備課
総合計画	大項目 基本目標	問合せ先	職・氏名
	中項目 基本施策		管理係長 岸本豊弘
	小項目 施策		電話
	安全で快適に暮らせるまちづくり		64-1833
	生活しやすいまちづくり		
	県道整備促進 歩道の整備促進		

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	県道利用者
目的(何のために)	県道等を整備し地域住民をはじめ県道利用者の安全を図る。また、地域の活性化を図ることを目的とする。
行政活動(どのような方法で)	市内の県道で整備が必要な箇所を選定し、県に早期整備の予算措置の要望を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	整備促進し利用者の安全を図る。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	整備促進負担金	件	5	5	5
	直接事業費	千円	160	160	155
	人件費		2,106	2,239	859
	事業費計		2,266	2,399	1,014
	国県支出金	千円	160	160	155
	受益者負担債		2,106	2,239	859
	一般財源		2,106	2,239	859
	必要人員	人		0,23	0,11
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
納入件数	説明				
結果指標①	結果指標量	5	5	5	
	対前年比	—	100,0%	100,0%	
	活動コスト	2,266,000	2,399,000	1,014,000	
	単位当たりコスト	453,200	479,800	202,800	
結果指標②	結果指標量	—	—	—	
	対前年比	—	—	—	
	活動コスト	—	—	—	
	単位当たりコスト	—	—	—	

事業の成果			
成果指標名	納入件数	式又は説明	負担金件数/納入件数
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	100	100	100
対前年比	—	100%	100%
到達目標値	100	到達目標年度	毎年



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	B
目的	<input type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	市内に存在する県道で、早期に整備が必要な箇所は相当数あり、今後も県への要望を行う必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
行政活動	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E>	B
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	事業費は工事の内容や件数により変動する。市民からの要望は年々増加しており効率性のため市で優先順位をつけ要望している。更なる整備箇所の選定が必要となる。	
市の関与	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	B
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	整備箇所の選定で有効性のあるものから県道整備の推進を県に働きかける。	
職場	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
成果向上の可能性			
市民参画度			

平成20年度の状況		説明	引続き整備箇所を選定し県へ要望していく。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量①	5	結果指標量②
	成果指標量		100

総合評価	評価区分<A~E>	B	
今後も要望箇所の増加が見込まれるが、事業内容を見直すなど改善を考えながら、状況に応じた事業要望が望まれる。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---	---

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	整備箇所の選定	次回要望時	事業費の削減
有効性	地域住民主体での選定	次回要望時	事業費の削減